

投資者の皆様へ

2025年4月7日



商号 SBIアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

### 4月7日の弊社ファンドの基準価額下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。  
 以下のファンドの基準価額が4月7日に大きく下落しましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

#### 1.基準価額及び騰落率(4月7日)

ファンド名称	基準価額	前営業日比	騰落率
SBI TOPIX100・インデックスファンド<DC年金>	22,671 円	▲1,985 円	▲8.1%
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	22,430 円	▲1,999 円	▲8.2%
SBI日本・アジアフィンテック株式ファンド	18,149 円	▲1,276 円	▲6.6%
SBI日本高配当株式(分配)ファンド(年4回決算型)	9,937 円	▲741 円	▲6.9%
SBI・i シェアーズ・日経 225 インデックスファンド	10,012 円	▲820 円	▲7.6%
SBI・i シェアーズ・TOPIX インデックス・ファンド	10,662 円	▲861 円	▲7.5%

#### 2.基準価額下落の主な要因

本レポートに記載のファンドに関する下落要因及び今後の見通しは以下の通りです。

国内株式市場は、4月2日にアメリカが相互関税を発表したことから、輸出株中心に先行きへの警戒感が強まっております。7日は日経平均が約▲7.8%(2,644円安の31,136.58円)、TOPIXが約▲7.8%(193.4安の2,288.66)、東証グロース市場250指数が▲10.5%(62.83安の534.55)と大きく下落しました。4日の海外市場はほぼ全面安の展開となりましたが、特に震源地のアメリカで下げが大きくなりました。海外のサプライチェーンへの依存度の高い米企業の業績悪化懸念、米国景気の後退懸念、関税によるインフレ上昇懸念などが高まり、株式から

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

国債などへのリスク回避が加速しました。そのため、7日の国内市場では、業績悪化懸念が強まった輸出企業、景気後退懸念、輸出減少などからの景気減速により、日銀の利上げが遅延するとの観測などから保険株、銀行株などが大きく下落しました。米ドル為替レートは、ドル売りが止まらず仲値 145.78 円を付けました。

S&P500 種指数は同期間に約▲6%、となりました。ダウ工業株 30 種平均は約▲5.5%、ナスダック総合指数は約▲5.8%、ナスダック 100 指数は約▲6.1%、ラッセル 2000 種指数は約▲4.4%、ラッセル 2000 種グロース指数は約▲4.7%、となりました。米 10 年国債利回りは、3 日の 4.02% 台から 4 日は 3.99% 台へ低下しました。株式市場の投資家の不安心理を示すとされる VIX 指数は、株価の先行きへの不安を反映して、4 日に 45.31 (3 日: 30.02) へ上昇しました。さらに、世界的な株安のなか、サウジアラビアタダウル全株指数は約▲6.8%、STOXX 欧州 600 指数は約▲5.1%、インドの S&P BSE センセックス指数は約▲1.2%、となりました。WTI 原油先物価格は約▲7.4% となりました。

株式市場ではリスク回避の売りが続き、終値ベースで見て、米国株、日本株ともに調整局面入りの状態です。国内株式市場の大幅下落に伴い、弊社の運用する日本株関連ファンドの組入れ銘柄の株価も影響を受けたことから、各ファンドの基準価額は下落しました。

トランプ政権の対外強硬路線への懸念が現実化しつつあり、米国と他の国々、特に覇権争いをめぐる中国との緊張関係や、ウクライナ問題を巡る欧州との分断への懸念、原油などエネルギー価格への影響、インフレ動向と米連邦準備制度理事会 (FRB) の利下げペースなど、市場のボラティリティが上昇し、不確実性が高まっております。さらに、同政権の施策により景気悪化が避けられないとの懸念も一段と強まりました。引き続き、FRB の金融政策動向、インフレ、トランプ大統領の政策をにらんだ景気の先行きを探る動きが続く一方、企業業績の方向性が注目されると考えております。さらに、DeepSeek 後、AI 関連投資への慎重な観測も見られるようになり、市場の物色動向が大きく変わる可能性も強まっております。変化が起こりやすい環境となっているため、市場環境のモニタリングに注力してまいります。

このような環境下、当社では引き続き適時適切な運用を行うべく尽力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

以上

## 投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

## お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.85% (税抜 3.5%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.585% (税抜 2.35%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。

また、上記上限を超える場合があります。

### ● その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。